

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		国民保護会議運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	財津公正	
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	総務課	担当者名	大賀盛博	
	基本事業	2	災害時応急対策			所属班	交通防災班	(内線)	1212	
予算科目	会計一般	款9	項1	目4	事業連番10020	法令根拠	国民保護法、合志市国民保護居議会条例		成果優先度評価結果	⑦
									コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 16 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民保護計画書の内容について、審議、決定を行う。また、各委員より情報の提供等を行う。平成16年9月に国民保護法が施行され、その後、国、県、市町村の役割を定めるために平成18年度に各市町村で当計画を策定するようになった。</li> <li>5年前は根拠法令等なかった。</li> <li>武力攻撃等を受けた際に、防災計画書に基づく対応をするため、委員の構成を防災会議とほぼ同様とし、委員の数を24人以内から29人以内に増員した。(H20.4.1施行)</li> <li>男女共同参画の視点を取り入れた緊急事態における体制を確立する必要があるため、女性委員を5名以上登用することとし、委員の数を29人以内から35人以内に増員した。(H26.4.1施行)</li> </ul>
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民保護計画の見直し案の検討(資料収集等)、各課との調整、委員の選任、国民保護協議会の開催通知、協議会の資料作成(国民保護計画書の印刷等)、協議会の実施(計画内容の検討協議・作成)、報酬の支払い</li> </ul>
【主な予算費目】	<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬</li> </ul> ※費用弁償：当事業は計画内容の関連が深い地域防災会議運営事業にて予算計上する。(当会議と防災会議を同日に開催している)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	・国民保護協議会を開催し、国民保護計画書の修正及び内容確認を行った。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>国民保護計画書の見直し。</li> <li>国民保護会議を開催(1回)。</li> </ul>
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回	予算の主な増減の理由
→ア:協議会開催数		・会議報酬を伴う国民保護協議委員会委員の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・国民保護協議会委員		→ア:国民保護協議会委員数
		(単位)人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・適切な国民保護計画を作成することができる。		→ア:国民保護計画書に対してなされた異議申し立て件数
		(単位)件
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・国民保護計画の内容が充実したものでなければならない。		全体計画
		～年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1	
②対象指標	ア	人	29	29	35	0	35	35	35	0	
③成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	22	22	60	26	45	49	49	49
		(A)事業費計	千円	22	22	60	26	45	49	49	49
		(A)のうち指定経費	千円	22	22	60	26	45	49	49	49
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	5	3	0	3	3	3	3
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	130	135	120	0	120	120	120	120	
	(B)人件費計	千円	529	537	478	0	478	478	478	478	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	551	559	538	26	523	527	527	527	

事務事業名	国民保護会議運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した ・国民保護協議会を開催し、計画書を作成。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ・国民保護協議会を開催し、計画書見直し等を行う。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ・国民保護計画書作成後、市民に公表する際、適切な計画書を作成し、市民からの意義申し立て等ないように、現状維持に努めることが、この事業の成果である。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ・H19年度より、計画書の印刷製本は自前で行うとともに、会議を防災会議と同日に行うことで旅費の削減を行った。事業費は委員の報酬のみであり、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ・会議の準備等、計画書の策定に要する事務であり、削減できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ・市民全体を対象にした計画であるため公平である	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

今後も近隣国際情勢に注視し、緊急事態に備えた体制を整える。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					